

富士市立高等学校 学校運営協議会		第8回	会議要旨 (平成27年度)
開催日 平成27年10月5日 月曜日 開会 13時00分 閉会 16時00分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
出席委員 上柳 正仁      塩田 真吾      柴田 怜奈      中川 加代子 畑 隆      松浦 匠      野村 浩美      吉村 孝夫 渡邊 利夫      齋藤 照安      片田 等      石村 俊樹 植野 秀樹			
開会			
5時間目の授業について説明			
○欠席委員より ・本日は都合がつかず、欠席させていただくことになり、申し訳ない。10月1日に授業を拝見させていただいたので、そのときの感想をお伝えさせていただく。 ・先生方と生徒が和気あいあいとしている。子どもたちから、分からないことを積極的に質問している場面がいくつかあり、素晴らしい環境だと感心した。 ・先生方も子どもの中に溶け込んで、子どもの目線で教えているなどと思った。先生方が生徒の中に入ってやってくれ、素晴らしいことを実践していると感じた。 ・広報について議論をするということなので、私も他校との違いはどのようなところかと考えてみた。特色は3つの学科があるということ。3つの学科が特色ある教育をしていくことが大切。 ・富士市の学校ということを前面に出していくといいと思う。市との連携も図れ、市立高校としての優位性をアピールしていくといい。 ・学校案内パンフレットは硬い感じがした。同窓会や後援会が、学校の支援として取り組んでいることを載せてみてはどうか。			
授業参観			
会長・副会長あいさつ ○畑会長 ・高校が順調に動いており、順調に運営されていると感じている。 ・市立高校のこれからの着実な発展に寄与していきたいと思う。 ○齋藤副会長 ・3年生は入社試験、AO入試、推薦という形の受験がスタートしている。 ・いろいろな行事を一つ一つこなしながら、12月に向かっていく。一年間は非常			

に早いと日々感じている。

- ・改革をした意味が出てくるような取組ができればと考えているので、ぜひお力をいただければと思う。

#### 議事の概要

(質問・意見等)

##### ○授業参観の感想について

- ・生徒と先生の間で、生徒同士でコミュニケーションをとる機会が多く、私たちが高校の頃に受けてきた授業のイメージとは違う感じを受けた。授業の中で、考えるということを取り入れていることがわかった。

(質問・意見等)

- ・私も同じように感じ、授業としてもとてもいいなと思う。
- ・プロジェクターが全教室にあったのがすごくいいと思う。ICTを利用した先生方の立ち位置が非常に良く、パソコンで提示しながら机間指導をかなりされていた先生が多いと思う。ICTを活用しながら子どもの様子を良く見て、授業をしているのが印象的だった。

(質問・意見等)

- ・私たちの頃と比べると、一つの教室の生徒の数も少なく、密に先生と話ができたり、聞いてもらえるのはいいと思った。数学が、理解度に合わせてクラスを分けているのがすごくいいと思う。非常に分かりやすいのではないかと思います。

(質問・意見等)

- ・生徒が本当に清々しい。清掃が行き届いている。服装の乱れもないし、あいさつもしっかりできる。毎回それを感じている。根本的なそういうものがしっかりされていることで、良い授業ができるのではないかと考えた。

(質問・意見等)

- ・少人数制を取り入れていて、先生方も分かりやすく話をされていて、いいなと思った。授業によっては40人位いる教室は先生が2人配置されていて、授業が受けやすい環境ができていると思った。
- ・私の子どもがビジネス探究科にいたので、どうしてもビジネス探究科に目が向いてしまう。エクセルの関数の応用ですとか、社会に出て実践的なものをやっていた。高校のときからできるのと、そういうことを勉強するために専門学校や大学に行ってから学ぶのでは、知識の土台が違うので、かなり有利だと思う。

(質問・意見等)

- ・私の職業が自営のサービス業なので、ビジネス探究科の授業は大変興味深く拝見させていただいた。実際に何か動いて、その結果を得

<p>(質問・意見等)</p> <p>(質問・意見等)</p> <p>(質問・意見等)</p>	<p>ることによって、さらに身に付くものがあるのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から学年が上がるにつれて、雰囲気が変わっていく。1年生は活気があって、すごく楽しそう。3年生になると真剣味が増して、非常にまじめに授業を受けていたことが印象的。</li> <li>・パソコンを使つての授業は、自分もIT教室とかパソコンを習った経験があり懐かしく思った。</li> <li>・昨年見させていただいた授業と比べて、今年は覇気があるというか、先生の声も大きく、生徒も熱心に聞いていたと感じた。</li> </ul> <p>(質問・意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの表情が非常にいいということと、休み時間のときのあいさつや礼儀が非常にいいと思う。</li> <li>・いつも気にしているのは、水周りがきれいかどうかということ。水道がきれいだと思った。扉のレールを見てもきれいで、教室の隅にほこりもない。市立高校が非常にいいということを改めて実感した。なぜ、こんなに良くなったのかなということを考えたなかで、子どもたちの表情を見たときに、子どもたちの感性がいいのかな、という感じがした。非常に表情がいい。</li> </ul> <p>(質問・意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスを2つに分けて教えていて、教育効果を考えた工夫がされていると感じた。</li> <li>・家庭科は、非常にいい雰囲気で、生き活きと作業をしていて、話している女の子の声など、非常に微笑ましいものがあった。生徒に非常にいい資質を感じた。</li> <li>・英語の先生はそれぞれ工夫されていて、生徒に問いかけているときの様子や、エッセイを書かせているときの指導、そういったところから、先生方の教える熱意を感じた。</li> </ul>
<p>○グループ協議「広報活動の充実と方策について」</p> <p>◇現在の取組と課題について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校訪問を行っている。高校側からは、できるだけ生徒の情報を提供するという出かけている。中学校側からは、学校紹介等の訪問の依頼がくる。</li> <li>・学校開放を10月10日に予定している。この日は、探究学習の発表をメインにやっといこうと考えている。</li> <li>・三つ目は、学校の見学会を9月の中旬から行っている。水曜日の午後4時から学校の紹介をする機会を設けている。</li> <li>・入試の説明会を12月の初旬から中旬に、放課後を使って本校で実施している。</li> <li>・広報誌については、学校案内、あるいはNewsLetterを年2、3回発行して、学</li> </ul>	

校の紹介に当たっている。

- ・その他としては、富士・富士宮地区の公立高等学校の入学者説明会がある。中学校の先生方、進路担当の先生方、あるいは若手の先生方を中心に学校を紹介している。富士地区は本校が会場になり、本校を見てもらえたことがすごく大きかった。
- ・11月1日に富士高校を会場に、9校合同説明会を行う。各学校のブースを設けて説明する。
- ・部活動見学等の機会も頻繁に設けているし、中学校と部活動との交流の場を設けている。
- ・探究学習の究タイム、2年生では市役所プランと題して、地域の方々と協働作業に取り組んでいる。発表会には大勢の方が来て、すごくいいことだと思う。生徒も生き生きとして、こういうことが大事だと感動した。
- ・「困ったところで市立だ。」という言葉を目にする。いい意味でもあり悪い意味でもあると思う。これをいい意味にもっていきたい。
- ・学校を評価する土俵にはいろいろな形があると思うが、どうしても評価の土俵が一つ。非常に残念。それも広報の中で伝えながらいければと思っている。学校の方向性を明確に理解してもらうように努力していくことが大事。
- ・本校の大きな課題の一つとして、学習習慣が身に付いていないと言われる。これは、素直に受け止めていかなければいけない。進学実績が出ていないと言われる言葉に繋がってくるのではないかとと思っている。
- ・本校のイメージがいまだ従来のままである。昔が良いとか悪いということではない。教育の方針が違うので、その内容を理解していただく。改革を進めてきた以上、多くの方に本校の教育理念を理解していただくことが大事である。多くの方に支援していただけるよう、学校は努めていかなければいけない。

#### (Aグループ)

- ・最初に情報の共有をさせていただいた。近くに住んでいる方や、学校に関わったことがあるという人たちには、広報がそれなりに届いている。そうでない方が、情報がないにも関わらず、以前の思い込みや、印象だけで話をされている、ということがまだまだ残っているという現状がわかった。
- ・どういった方法で、どういう人たちに向けて伝えていくべきか話をした。中学生や、今度中学校に入る子の保護者、特に母親に向けて伝えていくことが大切。具体的な方法としては、母親と一緒に何かをしてしまう。生徒たちは良い資質を持っていて、実際に話もできるし、活動もできるようになってきているので、一緒に活動をして、良い印象を持ってもらう。
- ・親に対する視点と、子どもに対する視点を分けていく必要がある。中学生は、勉強の中身よりは、普段の学校生活に関心がある。保護者については、何をしてい

るのか、具体的にどんなことをして、将来どうなるのかということに関心がある。

- ・情報がたくさんあるので、端的にきちんと伝えていくことがとても重要。実際に生徒と会ってもらって、実感を持ってもらうということが大事な視点。
- ・メディアをもっと上手く活用していく必要があるのではないか。

(Bグループ)

- ・委員の方々から、非常に多くの意見が出てきて、それをまとめるところまで話は進まなかった。Aグループの発表で出てきた部分は省略して、それ以外の部分について話をする。
- ・女子の制服がかわいいと評判である、という話が出た。これを生かせないか。
- ・進路の実績について、伝統のある進学校と数で競ってもなかなか勝てないのではないか。そういうことを売りにするよりも、校内で行っているコンテンツや、高校を卒業した先で、本校で学んだことがどういう形で生かされているかを、卒業生に話してもらって効果的ではないか。
- ・本校は、探究学習や3つの学科があることが特徴的な部分であり、なおかつ大学進学だけでなく、就職や公務員など多岐にわたっているという部分がアピールの材料になるのではないか。

次回日程について

閉会